

自然学習講座

テーマ:カワセミについて学ぼう

日時:令和5年3月18日(土) 13時から15時まで

講師:矢野 亮（国立科学博物館附属
自然教育園名誉研究員）

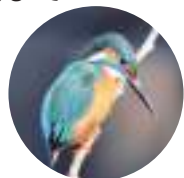
参加費:無料 定員:30人(15歳以上)

申込開始:令和5年2月17日(金)

集合:水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付:令和5年2月19日(日)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※野外での観察もありますので、動きやすく、濡れてもよい服装と運動靴でお越しください。



カワセミ

カワセミ研究の第一人者が、カワセミの子育てなどについて解説します。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品展示

展示期間
令和5年1月13日(金)~
令和5年2月12日(日)

フォトコンテストにご応募いただいた作品を展示します。期間中、入選作品を決めるための投票を行います。



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

(金61系統)

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



Twitter

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和5年 1月20日
(通算第190号)



水元小合溜の生きもの: 180

マサキ

ニシキギ科ニシキギ属

樹高 2~3m

結実 10~1月

丈夫で成長が早く、剪定にも強い常緑樹なので庭木や生垣として人気があります。『榎(マサキ)』の名前の語源は、まっすぐに伸びることを意味する「正木」や、冬も真っ青な木で「真青木」としたなど、様々な説があります。

庭木として人に人気



似ている果実



マユミ

殻(仮種皮)はピンク~白色で、大きく開く。



トバラ

殻(仮種皮)は厚く、種子の数が多し。

食べものとして鳥に人気

熟した果実は3~4つに裂け、中から赤い種子が外に出てきます。赤い種子は周囲の緑の葉に対してよく目立ち、ヒヨドリやムクドリ、ツグミなどの鳥類が好んで食べにきます。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



1/5 **カワウ** 大きなウナギをくわえて泳ぎ回り、何度も飲み込もうと頑張っていたが、結局は飲み込めずあきらめた。



1/6 **ユリカモメ** 水元大橋付近の園路を歩いていた。目の後ろ辺りに黒い点模様があるのが、冬羽の特徴。



1/6 **パン** 園路脇の草地上陸し、草をついばんでいた。脚が黄色く、体の横に白線がはいる。



1/6 **ウグイス** ヨシ原や生垣の中を隠れながら飛びまわっていたが、たまに表に出てきて、その姿を見せてくれた。



1/6 **ルリビタキ(み)** 園路に飛び出してきた幼鳥。メスに似るが、腰〜尾羽にかけて青い色が目立つのが幼鳥の特徴。



1/9 **アキノシ** 秋〜冬に枝いっぱい実をつける。薄く平たい実は、カワラヒワがよく好む。



1/5 **ヒナタイノコツチ** 実が生えた長毛がクリップの役割を果たし、服や動物の毛に引っ掛かってくっつく。



1/5 **ヤツデ** 中央広場や水辺ゾーンで花を咲かせていた。暖かい日には、ハエやアブの仲間などが吸蜜に訪れる。



1/13 **オスが多いホシハジロの群れ** 記念広場で見られた。この日確認された724羽のうち、9割以上がオスだった。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「水元公園のホシハジロのふしぎ」

1月を迎え、今年も冬鳥のピークが訪れました。この時期、水元小合溜では、ホシハジロ(9)の大きな群れを見ることができます。

ホシハジロは夏にシベリアで繁殖し、日本などで越冬する、水元公園の冬の風物詩ともいえるような身近な野鳥ですが、よく観るとふしぎな点に気がつきます。水元公園で見られるホシハジロは圧倒的にオスの割合が高いのです。1月13日に調査したところ、総数724羽のうち、オスは670羽と、9割を超えていました。日本全国を対象としたカモ類の性比調査(2016)でも、ホシハジロのオスは全体のおよそ7割とされ、他地域でもオスの割合が高いようです。

この理由として、繁殖地であるシベリアにおいて、単独で子育てをするメスの被捕食率が高いのではないかと指摘があります。開発や地球温暖化による湿地の乾燥化などを要因とする、繁殖場所の縮小が天敵による捕食率をさらに高めている可能性もあります。そのせいかホシハジロは現在急速に個体数を減らしているカモでもあります。

渡り鳥たちは、遠くの自然と繋がりを持って暮らしています。時には鳥たちが渡っていく遠い地域の自然を想像しながら、鳥たちを観察してみてください。(野間)



ボランティア活動報告

カワセミの営巣壁整備を行いました！

12月25日に、ボランティア・キッズボランティアが、かわせみの里の野草園脇にあるカワセミの営巣壁の整備を一緒に行いました。春にカワセミが安心して繁殖してくれるよう、営巣壁上部にネコよけを設置したり、営巣壁にかかる枝の剪定を行い、見通しを良くしました。



営巣壁上部にネコ除けとして、よしずを設置していきます。



営巣壁前の島では、草刈りと枝打ちを行い、カワセミが水面を見通しやすくしました。



営巣壁上部にきれいによしずがかかりました。



見渡しが良くなり、カワセミが天敵に気がつきやすく、また来館者も観察しやすくなりました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業、ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講、葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの1月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

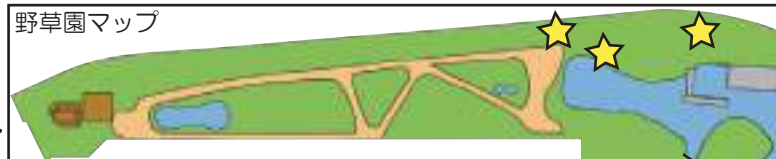
1月の見頃

ヒヨドリ

ヒヨドリは、水元公園で冬によく見られる「ヒーヨヒーヨ」という鳴き声特徴的な身近な野鳥です。この時期は、公園内に生えている様々な木の実食べ、あちこちで種子を含んだ糞をするため、野草園には時折、見覚えのない若木が生えます。



野草園マップ



見られるポイントはココ！